

正門でハンスト

チッソ
水俣工場 患者支援の学生ら

水俣病新認定患者とチッソとの補償交渉は、チッソ東京本社が舞台となり難航を続けているが、水

俣市では患者支援者がチッソ水俣工場正門前でハンストにはいつてすわり込んでいる。

東京交渉が深夜まで及んだ八日午後十一時から、十一月から患者とともにテントですわり込むなどして支援していた学生など五人が、ハンストに切り替えた。

「チッソは自主交渉に応じよ。患者さんたちの東京本社すわり込みの続く限りわれわれはすわり込み、ハンストを行なう」と書いた立て看板の横で、毛布やシートにくるまって寒さに耐えている。

工場正門の観音開きのトビラにもたれかかるようなところで、トビラは閉ざされている。医者の健康診断は受けていない。一方、患者家族たちはすぐ近くのテント内で「会社が誠意を示さなければ、重症患者を含めわれわれも上京する決意である」とすわり込みを続行中。

チッソ社員（向こう側）と対じする
告発する会（チッソ本社で）